



## 取扱説明書

2相ステップングモーター

PKPシリーズ CSギヤードタイプ

### はじめに

#### ■ お使いになる前に

製品の取り扱い、電気・機械工学の専門知識を持つ資格者が行なってください。お使いになる前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、本文中の警告・注意・重要に記載されている内容は、必ずお守りください。この製品は、一般的な産業機器への組み込み用として設計・製造されています。その他の用途には使用しないでください。この警告を無視した結果生じた損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

### 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損傷を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから製品をお使いください。

#### 表示の説明

	<b>警告</b>	この警告事項に反した取り扱いをすると、死亡または重傷を負う場合がある内容を示しています。
	<b>注意</b>	この注意事項に反した取り扱いをすると、傷害を負うまたは物的損害が発生する場合がある内容を示しています。
	<b>重要</b>	製品を正しくお使いいただくために、お客様に必ず守っていただきたい事項を、本文中の関連する取り扱い項目に記載しています。

#### 図記号の説明

	してはいけない「禁止」内容を示しています。
	必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

<b>警告</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>爆発性雰囲気、引火性ガスの雰囲気、腐食性の雰囲気、水のかかる場所、および可燃物のそばでは使用しない。火災・けがの原因になります。</li> <li>ケーブルを無理に曲げたり、引っ張ったり、挟み込まない。火災の原因になります。</li> <li>製品を分解・改造しない。けがの原因になります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>設置、接続、運転・操作、点検・故障診断の作業は、適切な資格を有する人が行なう。火災・けがの原因になります。</li> <li>昇降装置に使用するとき、可動部の位置保持対策を行なう。けが・装置破損の原因になります。</li> <li>製品は筐体内に設置する。けがの原因になります。</li> <li>接続図にもとづき、確実に接続する。火災の原因になります。</li> <li>電源には、一次側と二次側が強化絶縁された直流電源を使用する。感電の原因になります。</li> </ul>

<b>注意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>製品の仕様値を超えて使用しない。けが・装置破損の原因になります。</li> <li>指や物を製品の開口部に入れない。火災・けがの原因になります。</li> <li>運転中や停止後しばらくの間は、製品に触らない。やけどの原因になります。</li> <li>モーター出力軸やケーブルを持たない。けがの原因になります。</li> <li>可燃物を製品の周囲に置かない。火災・やけどの原因になります。</li> </ul>

お買い上げいただきありがとうございます。

この取扱説明書には、製品の取り扱いかたや安全上の注意事項を示しています。

- 取扱説明書をよくお読みになり、製品を安全にお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

<b>注意</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>通風を妨げる障害物を製品の周囲に置かない。装置破損の原因になります。</li> <li>運転中は回転部(出力軸)に触らない。けがの原因になります。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>モーターの回転部(出力軸)にカバーを設ける。けがの原因になります。</li> <li>モーターとドライバは指定された組み合わせで使用。火災の原因になります。</li> <li>装置の故障や動作の異常が発生したときに、装置全体が安全な方向へはたらくよう、非常停止装置または非常停止回路を外部に設置する。けがの原因になります。</li> <li>異常が発生したときは、ただちに運転を停止して、ドライバの電源を切る。火災・けがの原因になります。</li> <li>モーターは、正常な運転状態でも表面温度が70℃を超えることがあるため、運転中のモーターに接近できるときは、図の警告ラベルをはっきり見える位置に貼る。やけどの原因になります。</li> </ul>



警告ラベル

### 使用上のお願い

- 絶縁抵抗測定、絶縁耐圧試験を行なうときは、モーターとドライバを切り離してください

モーターとドライバを接続した状態で、絶縁抵抗測定、絶縁耐圧試験を行なうと、製品が破損するおそれがあります。

- ラジアル荷重とアキシアル荷重は許容値以下で使用してください

許容値を超えたラジアル荷重やアキシアル荷重が加わった状態で運転を続けると、軸受け(ボールベアリング)が破損する原因になります。必ず許容値内のラジアル荷重とアキシアル荷重で運転してください。

- モーターの表面温度

モーターは、運転条件(使用周囲温度、運転速度、運転デューティなど)によっては、ケースの表面温度が100℃を超えることがあります。軸受け(ボールベアリング)の寿命劣化を抑えるため、モーターケースの表面温度は100℃以下で使用してください。

また、ギヤヘッドのグリースや部材の劣化を防ぐため、ギヤヘッドの表面温度は70℃以下で使用してください。

- グリース漏れ

ギヤヘッドからまれに、少量のグリースがにじみ出ることがあります。グリース漏れによる周囲環境の汚染が問題となる場合は、定期点検時にグリースのにじみを確認してください。または、油受けなどの損害防止装置を取り付けてください。油漏れによって、お客様の装置や製品などに不具合を発生させる原因になります。

- 停止時の保持トルク

モーターの停止時は、ドライバのカレントダウン機能によって保持トルクが低下します。モーターを選定するときは、停止時のトルク低下を考慮してください。

- 許容トルク

一定速で運転するときは、仕様の許容トルク以下に抑えてください。許容トルクを超えて運転すると、ギヤヘッドが破損する原因になります。

- 速度範囲

モーターは、仕様の速度範囲内で運転してください。速度範囲を超えて運転すると、ギヤヘッドの寿命が低下する原因になります。

- バックラッシュ

ギヤヘッド出力軸にはバックラッシュがあります。バックラッシュの影響を抑えるため、CW方向またはCCW方向のどちらか一方で位置決め運転を行なってください。

- ギヤヘッド出力軸の回転方向

ギヤヘッド出力軸はモーター出力軸と同方向に回転します。

## 準備

### 製品の確認

次のものがすべて揃っていることを確認してください。不足したり破損している場合は、お買い求めの支店・営業所までご連絡ください。

- モーター ..... 1台
- 平行キー ..... 1個 (PKP26 に付属)
- モーター取付用ねじセット ..... 1袋 (PKP26 に付属)  
 [梱包内容] ねじ ..... 4本 (M4 × 60 mm)  
 平座金 ..... 4個  
 ばね座金 ..... 4個
- 安全にお使いいただくために ..... 1部

### 品名の見方

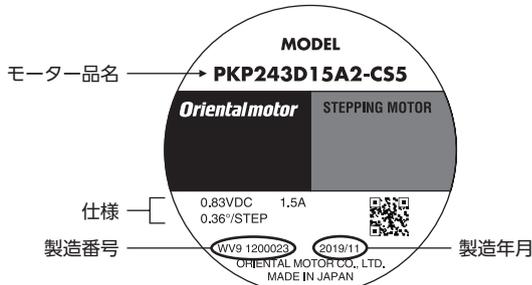
お買い求めの製品の品名は、銘板に記載された品名で確認してください。銘板の見方については「銘板の情報」をご覧ください。

**PKP 2 4 3 D 15 A 2 - CS 5**  
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

1	シリーズ	PKP:PKPシリーズ
2	2相	
3	モーター取付角寸法	2:28 mm 4:42 mm 6:60 mm
4	モーターケース長さ	
5	リード線の本数	D:4本 U:6本
6	モーター巻線仕様	代表例 15:定格電流 1.5 A/相 23:定格電流 2.3 A/相
7	形状	A:片軸 B:両軸
8	モーター識別	2:モデルA なし:モデルB
9	ギヤの種類	CS:CSギヤード
10	減速比	

### 銘板の情報

図はサンプルです。

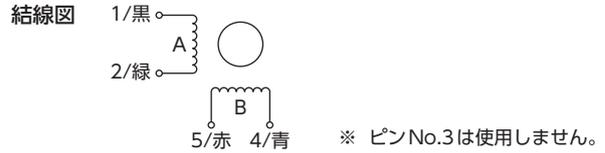
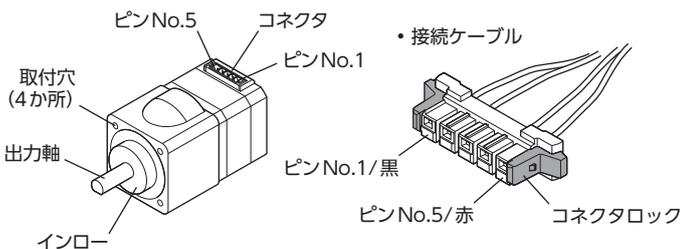


製品によって、情報の記載位置が異なる場合があります。

### 各部の名称

図には、ピンNo.とリード線色を示してあります。結線図は、当社の接続ケーブルを表わしています。

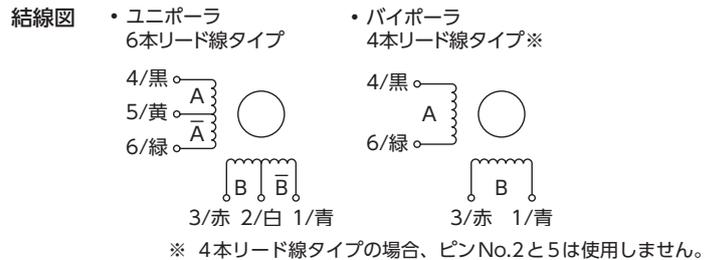
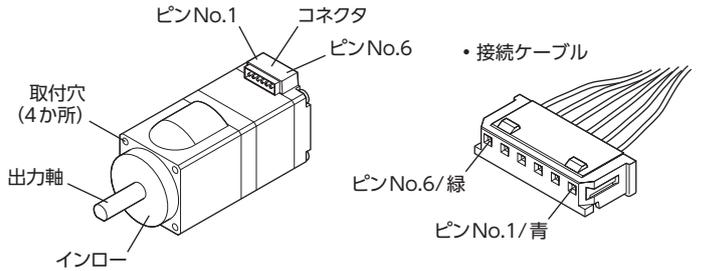
#### モデルAのモーター



#### 適用コネクタ・リード線

種類	品番
コネクタハウジング	MDF97A-5S-3.5C (ヒロセ電機株式会社)
コンタクト	MDF97-225C (ヒロセ電機株式会社)
指定圧着工具	HT801/MDF97-225 (ヒロセ電機株式会社)
適用リード線	AWG24~22 (0.2~0.3 mm <sup>2</sup> ) 被覆外径:φ1.24~1.38 mm 被覆剥き長さ:1.8~2.3 mm

#### モデルBのモーター



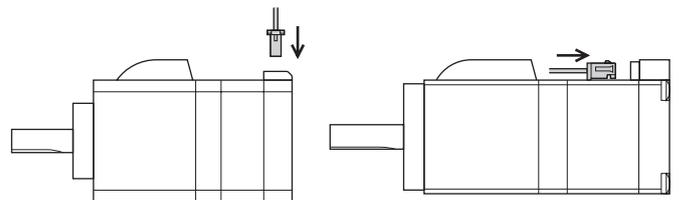
#### 適用コネクタ・リード線

種類	品番
コネクタハウジング	51065-0600 (日本モレックス合同会社)
コンタクト	50212-8XXX (日本モレックス合同会社)
指定圧着工具	57176-5000 (日本モレックス合同会社)
適用リード線	• 設定電流 1 A/相未満: AWG28~24 (0.08~0.2 mm <sup>2</sup> ) • 設定電流 1 A/相以上: AWG26~24 (0.14~0.2 mm <sup>2</sup> ) • 設定電流 1.5 A/相以上: AWG24 (0.2 mm <sup>2</sup> ) 被覆外径:φ0.8~1.4 mm 被覆剥き長さ:1.3~1.8 mm

## 接続

#### コネクタを挿入するとき

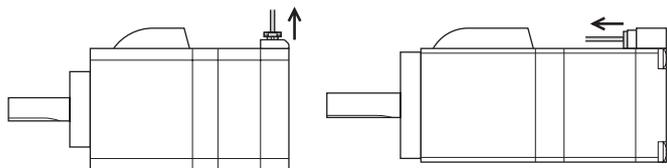
コネクタ本体を持ち、まっすぐ確実に挿入してください。コネクタが傾いたまま挿入すると、コネクタが破損したり接触不良の原因になります。



## 設置

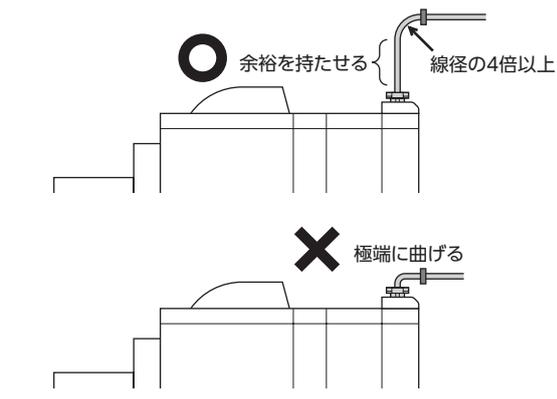
### コネクタを抜くとき

コネクタ本体を持って、まっすぐ引き抜いてください。リード線を持ちたり、コネクタがロックされたまま引き抜くと、コネクタが破損する原因になります。



### 重要

コネクタ接続部のリード線を固定して、リード線の屈曲や自重によるストレスがコネクタや端子に加わらないようにしてください。また、コネクタ接続部の近くでリード線を極端に曲げないでください。リード線にストレスが加わると、接触不良や断線によって、誤動作・発熱の原因になります。



### 当社ドライバとの接続

当社のドライバと接続するときは、表を参考にしてください。表の「色」は、当社の接続ケーブルのリード線色を表わしています。

### 重要

モデルAとモデルBのモーターは、ピン配列が異なります。接続を間違えると正常に回転しません。

### CVDシリーズとの接続

ドライバ CN2ピンNo.	モデルA		モデルB	
	ピンNo.	色	ピンNo.	色
1	4	青	1	青
2	5	赤	3	赤
3	-	-	-	-
4	2	緑	6	緑
5	1	黒	4	黒

### CMDドライバとの接続

ドライバ CN3ピンNo.	モデルB	
	ピンNo.	色
1	1	青
2	2	白
3	3	赤
4	4	黒
5	5	黄
6	6	緑

### 設置場所

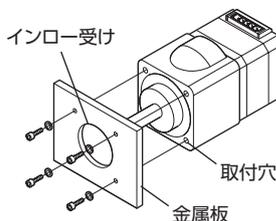
モーターは機器組み込み用に設計・製造されています。風通しがよく、点検が容易な次のような場所に設置してください。

- 屋内に設置された筐体内(換気口を設けてください)
- 使用周囲温度  $-10 \sim +50$  °C (凍結しないこと)
- 使用周囲湿度 85 % 以下 (結露しないこと)
- 爆発性雰囲気、有害なガス(硫化ガスなど)、および液体のないところ
- 直射日光が当たらないところ
- 塵埃や鉄粉などの少ないところ
- 水(雨や水滴)、油(油滴)、およびその他の液体がかからないところ
- 塩分の少ないところ
- 連続的な振動や過度の衝撃が加わらないところ
- 電磁ノイズ(溶接機、動力機器など)が少ないところ
- 放射性物質や磁場がなく、真空でないところ
- 海拔 1,000 m 以下

### 設置方法

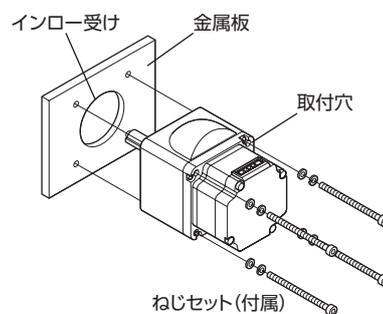
モーターは耐振動性にすぐれ、熱伝導効果が高い、平滑な金属板に設置してください。モーターを設置するときは、4か所の取付穴を使用して、金属板との間にすき間がないように、4本のねじで固定してください。PKP26には、取付用ねじセットが付属しています。

#### PKP22、PKP24



#### PKP26

付属のねじセットで固定してください。(ねじサイズ:M4 × 60 mm)



品名	ねじの呼び	締付トルク(N・m)	有効ねじ深さ(mm)
PKP22	M3	1	6
PKP24	M4	2	8
PKP26	M4	2	-

締付トルクの値は推奨値です。取り付ける金属板の設計条件に合わせて、適切なトルクで締め付けてください。

### 重要

ギヤヘッド組付ねじ(4本)を緩めないでください。

### 負荷の取り付け

負荷をモーターに取り付けるときは、負荷の軸中心線とモーター出力軸を揃えてください。カップリングやプーリーをモーター出力軸に取り付けるときは、出力軸や軸受けに損害を与えないでください。

### 許容ラジアル荷重と許容アキシャル荷重

モーター出力軸にかかるラジアル荷重とアキシャル荷重は、表の許容値を超えないでください。

品名	許容ラジアル荷重(N)				
	モーター出力軸先端からの距離				
	0 mm	5 mm	10 mm	15 mm	20 mm
PKP22	30	37	50	73	-
PKP24	59	68	80	96	-
PKP26	160	170	200	220	260

品名	許容アキシャル荷重(N)
PKP22	30
PKP24	40
PKP26	70

## 点検・保守

### ■ 点検

モーターの運転後は、定期的に次の項目について点検することをおすすめします。異常があるときは使用を中止し、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

#### 点検項目

- ・モーターの取付ねじに緩みがないか確認してください。
- ・モーターの軸受部(ボールベアリング)などから異常な音が発生していないか確認してください。
- ・ケーブルに傷やストレスがないか確認してください。
- ・コネクタやドライバとの接続部に緩みがないか確認してください。
- ・モーター出力軸と負荷軸に心ズレが出ていないか確認してください。

### ■ 保証

製品の保証については、当社のWEBサイトでご確認ください。  
<https://www.orientalmotor.co.jp/>

### ■ 廃棄

製品は、法令または自治体の指示に従って、正しく処分してください。

## 仕様

製品の仕様については、当社のWEBサイトでご確認ください。  
<https://www.orientalmotor.co.jp/>

## 一般仕様

保護等級	IP20	
使用環境	周囲温度	-10~+50 °C(凍結しないこと)
	湿度	85 %以下(結露しないこと)
	高度	海拔1,000 m以下
	雰囲気	腐食性ガス、塵埃がないこと。 水、油が直接かからないこと。
保存環境 輸送環境	周囲温度	-20~+60 °C(凍結しないこと)
	湿度	85 %以下(結露しないこと)
	高度	海拔3,000 m以下
	雰囲気	腐食性ガス、塵埃がないこと。 水、油が直接かからないこと。
絶縁抵抗	コイルケース間をDC500 Vメガーで測定した値が100 MΩ以上あります。	
絶縁耐圧	次の条件で電圧をコイルケース間に1分間印加しても、異常を認めません。 ・PKP22、PKP24:AC0.5 kV 50/60 Hz ・PKP26:AC1.0 kV 50/60 Hz	

## 法令・規格

### ■ RoHS 指令

この製品は規制値を超える物質は含有していません。

- ・この取扱説明書の一部または全部を無断で転載、複製することは、禁止されています。
- ・取扱説明書に記載されている情報、回路、機器、および装置の利用に関して産業財産権上の問題が生じても、当社は一切の責任を負いません。
- ・製品の性能、仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- ・取扱説明書には正確な情報を記載するよう努めていますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどにお気づきの点がありましたら、最寄りのお客様ご相談センターまでご連絡ください。
- ・**Orientalmotor** は、日本その他の国におけるオリエンタルモーター株式会社の登録商標または商標です。

© Copyright ORIENTAL MOTOR CO., LTD. 2019

2022年7月制作

## オリエンタルモーター株式会社

お問い合わせ窓口 (フリーコールです。携帯・PHSからもご利用いただけます。)

技術的なお問い合わせ・訪問・お見積・ご注文

総合窓口 お客様ご相談センター

受付時間 平日9:00 ~ 19:00

TEL 0120-925-410

FAX 0120-925-601

故障かな?と思ったときの検査修理窓口

アフターサービスセンター

受付時間 平日9:00 ~ 17:30

TEL 0120-911-271

FAX 0120-984-815

WEBサイトでもお問い合わせやご注文を受け付けています。 <https://www.orientalmotor.co.jp/>